

コースコード：IL-CD051

税込価格：55,000円 (税抜価格：50,000円)

日数：1日間

ここに注目!!

組織の戦略に即した「生きたセキュリティ」を構築するための、実践的なマネジメントプロセスを学習します。

形骸化を防ぐ仕組みづくりや、事業継続を見据えたリスクアセスメントの手法を、ケーススタディを通じて学習します。

当トレーニングは、2026年度の情報処理安全確保支援士の実践講習として選定されています。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・現在、部門内の情報セキュリティ管理を担当しており、主体的に作業を行えることをめざす方
- ・情報セキュリティマネジメント構築段階において課題を感じている方
- ・情報処理安全確保支援士の資格更新のため、特定講習として受講されたい方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・「情報セキュリティマネジメント試験対策 - 情報セキュリティ技術の概要」または「セキュリティ・ファンデーション - 不正アクセスと対策方法」を修了している、または、同等の知識を有すること。
- ・情報処理安全確保支援士の資格を取得されている方は、前提条件として十分です。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- 修了した時点で、以下ができることを目標とします。
- ・情報セキュリティマネジメント構築に関するオペレーションとマネジメントの独立した関係を説明できる
- ・情報セキュリティマネジメントのプロセスを理解し、組織の状況からポリシー、リスク対応に至る流れを説明できる
- ・情報セキュリティマネジメント構築の目的の一つでもある事業継続について基本的な考え方を説明できる

アウトライン

情報セキュリティマネジメントの構築

マネジメントとは

【演習1】マネジメントプロセスのアウトプット (グループ演習)

組織

企業倫理と情報セキュリティマネジメント

組織体制と役割

情報セキュリティマネジメントのコアプロセス

情報セキュリティマネジメントの焦点 "Issue"

【演習2】 Issue (グループ演習)

情報セキュリティリスクマネジメント

機会とリスク

【演習3】機会とリスク (グループ演習)

【演習4】詳細リスク分析手法を用いたリスクの特定 (グループ演習)

事業継続マネジメントの情報セキュリティ側面

各種文書の作成

情報セキュリティポリシー

【演習5】情報セキュリティポリシー (個人演習)

情報セキュリティ規程

情報セキュリティ関連法令

【演習6】「情報セキュリティをマネジメントする」とは (個人演習)